

発行日/2017.6.1

嘉麻市社協だより

えがよ

No.136

230名で
嘉穂アルプスを
制覇 ～馬見山 山開き～



写真提供：坂本写真館



社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751

FAX 0948-83-8005

<http://kama.syakyo.com>

✉ info@kama.syakyo.com

 <https://www.facebook.com/kama.swc>

いつまでも住み慣れた地域で 暮らしていくために

～みんなで支えあう地域を目指して～

第1回協議体(4月)

それぞれのテーマに沿って話し合い、いろいろな意見を出し合いました。

なつきちゃんにし(稲築西地区)

4月20日(木) 稲築保健センター
テーマ:「買い物や通院などの移動の仕組み」

年齢を重ねても、生活に密着している買い物や通院が安心してできるよう、移動手段を充実させたいとの思いから、乗り合いタクシーやバスの利便性の向上、配達してくれるお店のリスト作りなどを話し合いました。



なつきちゃんひがし(稲築東地区)

4月20日(木) 稲築保健センター
テーマ:「幅広い世代の方が交流できる居場所」

協議体の勉強会から始まった40周年公園の花壇づくりやラジオ体操、新たにスタートした子ども会など、地域にある居場所の活動状況や課題を話し合いました。そのなかで、花壇の土を耕す力作業が大変との声があり、協議体のメンバーが市民に呼びかけ、4月22日(土)に花壇の整備を行いました。

嘉麻い隊うすい(碓井地区)

4月14日(金) 上白井公民館
テーマ:「本当に必要な仕組みを知るための調査」

困っている方の声を聞き、本当に必要な仕組みづくりを考えたいとの思いから実施することになったアンケート調査の内容を話し合いました。サロンやデイサービスなど、人が集まる場所でもみなさんにお話を伺い、碓井地区に必要な取り組みを考えていきます。

あっとふるやまだ(山田地区)

4月11日(火) 山田生涯学習館
テーマ:「自分で商品を選び買い物できる仕組み」

山田地区の買い物の現状を整理し、楽しんで買い物をするために、移動販売ができないかとの声が上がリ、協力していただける商店に声かけし、協議体への参加を働きかけることになりました。

机上でできる、できないを考えるよりも、まずはできることからやってみようと、5月から移動販売の実施に向けて話し合います。

嘉穂ますます会(嘉穂地区)

4月10日(月) 夢サイトかほ
テーマ:「行きたいところに行ける仕組み」

乗り合いタクシーをイメージし、利用人数や料金、時間、昇降場所などについて考え、タクシーやバス会社、交通体系対策係などに協議体への参加を働きかける事になりました。

また、多くの方に協議体に参加してもらい、地域のことを一緒に考えていきたい。移動に困っている方の声を聞きたいなどの意見がありました。



今後の協議体について

なつきちゃんにし・なつきちゃんひがし
6月15日(木) 10:00 ~ 稲築保健センター
7月20日(木) 10:00 ~ 稲築保健センター

嘉麻い隊うすい
6月9日(金) 13:30 ~ 人権啓発センターあかつき
7月14日(金) 10:00 ~ 西郷公民館

あっとふるやまだ
6月10日(土) 10:00 ~ 下山田公民館
7月8日(土) 10:00 ~ 山田活性化センター

嘉穂ますます会
6月12日(月) 10:00 ~ 千手いこいの家
7月10日(月) 10:00 ~ 下牛隈公民館

協議体は、住んでいる地域のことを話し合う場なので、どなたでも参加できます。

協議体の開催時間に合わせて、出張相談窓口を開設しています。介護のことに限らず何でもご相談ください。

社会福祉法人の地域貢献活動

4月25日(火)、かま福祉ネットワーク会議を開催し、市内の13社会福祉法人19施設から、27名の職員が参加しました。

初めに、国が目指す地域共生社会の実現に向けて、「他人事」になりがちな地域づくりを地域住民が「我が事」として主体的に取り組む仕組みをつくっていくことや公的な福祉サービスへのつなぎを含めた「丸ごと」の総合相談支援体制整備が求められていることを共有しました。

かま福祉ネットワーク委員会で、この考え方を踏まえた上で、市内の社会福祉法人に総合相談窓口を開設し、より身近で気軽に相談できる場所を市内全体に増やすことや「個」の相談一

つひとつに真摯に向き合い、社会福祉法人が連携して、解決に向けて取り組むことを確認しました。

また、今年度から会費を集めることになり、新しい役員として会計に社会福祉法人嘉穂福祉会 軽費老人ホーム三光園の白井隆輝さん、監事には社会福祉法人 稲穂会 軽費老人ホーム稲穂園の川元志津さんと特別養護老人ホーム第二稲穂園の添田欣一さんが選任され、要綱の見直しを行いました。



社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に、図書券(千円分)をプレゼントします。

問題

4月27日に行われた、家から一歩外に出て自由に過ごせる居場所であるフリースペースはどこで開催されたでしょうか？

- (1) 知ってこハウス
- (2) しゃべってこハウス
- (3) 寄ってこハウス

応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、6月30日(必着)までにハガキ、またはEメールにて応募ください。

●送付先 〒82010205

嘉麻市岩崎1143番地3

嘉麻市社会福祉協議会

E-mail: riki@kama.syakyu.com

●前号のクイズの答え

(2) 3回目

災害ボランティアネットワーク連絡会を開催したのは、3月17日で3回目でした。

●応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・表紙の子育てグループがまっぴの子どもたちの笑顔が良かったです。

・生活支援コーディネーターがいることにより、みんなの悩みについての課題を一緒に考えて解決をしているのでいいですね。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



成年後見 Q&A

Q

被後見人宛の郵便物を後見人が受け取ることはできますか？

A

平成28年10月に法律が改正され、郵便物の取り扱いについては、家庭裁判所の許可を得て、被後見人宛の手紙を後見人が受け取ることができるようになりました。ご本人の人権を侵害することがないように後見人には細心の注意が求められます。



今月のブログ

本会では、日々の活動を紹介したり、いろいろな福祉情報を素早くお届けしたいという思いから、ホームページで、日記『嘉麻市社協のブログ』を書いています。そこから抜粋してきた記事をご紹介します。

<http://kamasyakyo.sakura.ne.jp/wp/> (ブログのアドレスが変わりました)

フリースペース

2017年4月27日(木)

4月27日、寄ってこハウスでフリースペースを開催しました。月に1回のカラオケの日でした。カラオケはしたい方が参加されて、もちろん参加しない自由もあります(^◇^)参加された方は、色々な歌をうたってください、楽しい時間となりました。

お菓子を作ってきてくださった方もいらっしゃいました。フライパンで焼いて巻いて作ってくださったということで、近くで見ると生地が何層にもなっています!繊細な作業だと思います、みなさんととても喜ばれていました♪♪



フリースペース 毎週木曜日
13:30～ 開催しています(^^♪

平成29年度 福岡県共同募金会新任者研修会

2017年4月28日(金)

4月28日、クローバープラザにて、福岡県共同募金会新任者研修会に参加しました。

最初に、赤い羽根共同募金について、歴史や意義、その仕組み等についての説明がありました。共同募金の始まりは、戦後直後の1947年(昭和22年)にまでさかのぼり、第一回目の実績は5億9296万円(現在で約1500億円)になるとのことです。当時は戦後直後であるにもかかわらず、みんなが助け合いの意識が高かったことがわかります。共同募金は今年で70周年を迎えており、認知度は上がっていますが、募金額は下がっており、今後の課題と話されました。

福岡県の共同募金の取り組みや一年間を通しての共同募金担当職員が行う業務について説明があった後、グループ討議を行いました。テーマは「各支会での取り組みについて」募金活動・配分方法・広報啓発活動などを話し合いました。それぞれに持ち寄った事前シートや広報物をもとに説明しました。募金方法の取り組み等について、同じ部分もあるけれど違っていることもあり、とても勉強になりました。

今困っていることや今後取り組みたいことについて「新規開拓が難しい」「募金箱を置いてもらうために工夫が必要」「ハロウィンと共同募金をコラボして興味をひきたい」「共同募金のことを知ってもらうために講演会などを行いたい」など、様々な意見がでました。

今回の研修会で学んだことを今後の共同募金の業務に活かしていきたいと思います。

大牟田市社協視察研修

2017年5月22日(月)



5月22日、大牟田市社協から、ひきこもり支援事業についての視察に寄ってこハウスに来られました。

事業に取り組むことになったきっかけからこれまでの支援について、そしてフリースペースの現状について説明をさせていただきました。

また、フリースペースを自由に過ごせる場にする、ひきこもることを応援する視点、地域にある偏見の目へのアプローチなどについてもお話をいただき、その後、質疑応答を行いました。

ひきこもることで困りごとを抱えた方へのサポートは、整っていないのが現状です。私たち社協を含め、みなさんと協力して行動していくことで、支援体制が充実していけばとお話し、今日の視察が終了しました。

コラム交差点

地域のみんなから愛される

熊ヶ畑小学校

今年の新生は3人だった。

両脇に在校生が2人ついて入場して来た。児童達より多い、先生や来賓の方から大きな拍手がわいた。待っていてくれたかのように桜の花も咲き誇った。

今年全員で21人。始業式の日には4人の転校生があったのだ。「5年ぶりのこととありがたいです」と校長先生。「小規模特認校制度」を導入したことで市内全域から就学できるようになった。

自然と花いっぱいになった学校だ。

大きな特色が3つ。

1つは学力の向上。少人数ならではの個別指導、繰り返し等で、学力検査は全学年・全教科で全国や福岡県の平均を上回る。

2つ目は体験活動。農業の方の協力でお茶の葉でお茶作り、梅の実で梅ジュース。田植えで米を育て出来たお米で餅つきをする。その他獅子舞や、しめ縄づくり。

3つ目は、豊かな心の育成、あいさつや返事で「いじめ」や「不登校」ゼロを目指している。

私達の老人会の参加は、6月に世代間交流で、がめの葉餅をつくり昔の遊びをする。12月は餅つきで、できたての黄粉もちやおろ

しもちを一緒に食する。
また私は4人の仲間と共に「読み聞かせボランティア」の応援隊。

一度、熊ヶ畑小学校に来てみませんか。

(広瀬須代子)

長谷山で新緑祭

「子どもの日」の5月5日、正午から嘉麻市と桂川町にまたがる長谷山(311メートル)山頂で、毎年恒例の新緑祭が開かれました。

親子連れや、地元子ども会に人気のイベントとして長く親しまれています。

住民グループ「長谷山を愛する会」が、29年前からこの祭りを主催しています。登山道は確井、千手、桂川からの3ルートがあり、それぞれのルートから登山を楽しむことができます。

当日は、会のメンバーが長谷山で採れた山菜の天ぷらや焼きそば、竹めしなどを振る舞い、「美味しい」と喜ばれました。

その後は、宝さがしなどをしてから下山し、子どもの日を楽しみ、過ごされました。

(長谷山を愛する会)

広報委員 有江昌弘



◆◆◆案内◆◆◆

在宅介護者の集い

在宅で介護をされている方々が、いろんな情報交換をつうじて、楽しくリフレッシュしています。

●平成29年6月8日(木)

●稲築住民センターにて(漆生878番地)

●平成29年7月13日(木)

●ふれあいハウスにて(上山田502番地6)

※時間は13時～15時までです。

嘉麻市認知症家族の会

認知症の方を介護しているご家族が集まり、お互いの体験や情報交換をしています。

●平成29年6月24日(土)

●平成29年7月22日(土)

●ふれあいハウスにて(上山田502番地6)

※時間は13時30分～15時までです。

ひきこもり家族の集い

ひきこもりの家族を持たれている方々と、いろんな悩みを話し、情報交換をしています。

●平成29年6月22日(木)

●平成29年7月27日(木)

フリースペース

家から一歩外に出て自由に過ごせる居場所です。特にプログラムはありません。

毎週木曜日 13時30分～15時30分

●平成29年6月1日(木)、8日(木)、15日(木)、22日(木)、29日(木)

●平成29年7月6日(木)、13日(木)、20日(木)、27日(木)

※ひきこもり家族の会、フリースペースの開催場所はいつでも寄ってこハウスで、時間はいつでも13時30分～15時30分です。

日時等が変更になることもありますので、事前にご連絡ください。

《お問い合わせ先》

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-14210751

E-mail: tiki@kama.syakyo.com



馬見山山開きに参加しました

5月14日(日曜日)、嘉穂三山愛会主催で開催された馬見山山開きに参加しました。

馬見山は去年、古処山・屏山とともに嘉穂アルプスという名称で日本山岳遺産に認定されました。全国で20番目、九州で2番目になります。この馬見山山開きは今年で6回目になり、馬見山は標高978mあり、嘉穂アルプスの中でも一番高い山です。

当日は晴天で、参加者、スタッフ合わせて230名が参加しました。60歳以上の方や家族連れ、小学生など様々な方がおられました。登山経験者の指導のもと、念入りに準備運動を行いました。登山においては初心者ほど先頭の近くにいた方がいいとのことと、登山中はなるべく先頭を見失わないようにこころがけました。登山中は3回ほど休憩があり、周りの森林や川の流れを楽しみ、参加者と話をしました。「登山は良い運動になるね」「山の中の空気は気持ちがいいね」などの会話がとびかかっていました。山頂に近づくにつれ、山道が険しくなりました。勾配の急な山道が



登山の道中

ありロープがや木につかまっつて、転ばないように重心を低くして、慎重に登りました。別ルートを使って、登山をされる方

もいました。

山頂に着いた時、爽快感と同時に安堵感が生まれました。山頂から見た景色はとてきれいで、心が癒されました。山頂では板に焼き印を押した記念品などが配られました。また、安産祈願や餅つきがあり、参加者はぜんざいをおいしくいただきました。ドローンが飛んでおり、その場にいた参加者たちで手を振りました。記念撮影をした後、下山しました。登山とは別のルートを使い、木につかまるタイミングが難しく、滑りながら下山する小学生の参加者もあり、楽しんでいました。どんな時にも楽しむ事が重要だと感じました。時折休憩をはさみ、無理なく下山できるように配慮されていました。

参加者からは「疲れたね、でも参加してよかった。」「自然にふれていたら、穏やかな気持ちになった。」と、笑顔で話されていました。達成感が漂っており、表情が生き活きました。参加者それぞれにいい思い出ができた馬見山山開きとなりました。



頂上からの景色

イベント情報

こしよさん 古処山探検隊

古処山探検隊が開催されます。山登りに興味がある方など、お気軽にご参加ください。事前申し込みなどは不要です。

日時 8月6日(日) **集合・出発** 10:00

集合場所 古処山遊人の杜のキャンプ場駐車場

内容 天然記念物のツグの原生林の古処山に登り、幻のオオキツネノカミソリ(ユリ科の花)とニシキキンカメムシに逢いにいきます。

その他 雨天の場合は中止となります。

問い合わせ
090-4475-1422
(益田まで)



ボランティア募集情報

子どもたちとの遊び相手

障がいを持つ子どもと家族の会「Bravo!」は、毎月第3土曜日に山田ふれあいハウスで、定例会を開催しています。保護者の方々は和やかな雰囲気の中で、情報交換や悩みの共有をしています。その際に子どもたちとの遊び相手をしていただける学生ボランティアを募集しています。

日時 毎月第3土曜日
10:00~13:00

場所 山田ふれあいハウス
(嘉麻市上山田502-6)

募集人数 2・3名程度

その他 動きやすい服装でご参加ください。昼食、お茶などの水分はご自身でご準備ください。





貧困のなかで おとなになる

著者 中塚久美子さん
かがわ出版



この本は現代の貧困についてのどの側面からアプローチしていくのか、それを考えるための実情について書かれています。

指標などに載らないような原因についての考察や経緯について読んでみると、子どもの貧困の問題はただ「貧困で大変そうだな、かわいそうだな」では済まされえないような根深く深刻な問題があると感じました。

子どもの虐待やいじめの問題がテレビなどで取り上げられた際に、「親が悪い」「学校が悪い、教師が悪い」とよく言われますが、「果

たしてそんなカンタンな問題なのか」と疑問に思っていました。

子どもの貧困と聞くとただ単にお金が無い家庭の子どもの問題であるように思えますが、お金が無いからほしいものが買えない、必要なものが買えないという不便さが本質的な問題ではありません。そのことよりもお金が無いことから始まる孤立や、情報からの疎外が起こること、そこから学業不振になり、さらに貧困により学業の遅れを立て直せない状況となり、子どもが将来の夢を持たないという自己防衛を始める、と言ったところに子どもの貧困の問題点の本質はあると思いました。

「昔はみんな貧乏だった」「多少厳しい環境で育ったほうが子どもに向上心や根性がつく」というような終戦直後の貧困と今のような格差の開いた社会や情報化社会の貧困では大きく貧困の意味が異なるのではないかと思います。

（あかま）

炭鉱の記憶

「母が亡くなったので、荷物の整理をしていたら、昔の写真が出てきました」と山田ふれあいハウスに三菱上山田炭鉱のハガキと写真をもつて来てくださった方がいらっしゃいました。写真についてお聞きしたところ「場所がどこか分からないし、なにをしているところかもわからない」ということでした。

この写真について、なにかご存じの方がいらつしやらないかお聞きし、地域のみなさんに知っている方



上山田小学校運動会

を繋いでいただいて、森茂さんにお話をお伺いすることができました。

写真を見ていただくと「これはずいぶん昔の写真やな」と言われ、この写真は、現在のサルビアパークのところにあつた上山田小学校の運動会で、相撲体操をしているところではないかと教えていただきました。背景の森林は稲荷山で、この頃は炭鉱全盛期のときだそうです。森さん自身、昭和十九年から昭和十四年の約十五年間、鉱員として上山田鉱業所で機械の溶接や修理のお仕事をされていました。

森さんは、小学校3年生のときに、徳島県から上山田に引っ越しをされたそうで、自身も上山田小学校の卒業生だということでした。「学校で席についていなかったら、運動場4週走ってきなさい」と先生に怒られていた」と笑って懐かしんでおられました。「そのときのことを思い出させてくれる、写真は良いね」とおっしゃっていました。

「罪を犯した障がい者・高齢者を支える ネットワークの構築に向けて」

～平成29年度筑豊ブロック市町村社協連絡協議会～

5月17日、27市町村社協からなる筑豊ブロック総会
を行い、23社協55名が出席しました。基調講演では、福
岡県地域生活定着支援センターのセンター長 小畑
孝仁おぼたさんから、司法と福祉の連携をテーマに話して
いただきました。

最初に、罪を犯した方の中には、住む場所や食べるも
のなどが無い『物理的困窮』と家族や心配してくれる人が
いないという『関係性の困窮』の2つがあり、帰る場所がな
く、刑務所に居場所を求め、再び罪を犯してしまう方が少
なくないそうです。そのため、平成23年度末に全ての都道
府県に地域生活定着支援センターが設置されました。

福岡県地域生活定着支援センターでは、相談支援や
コーディネート業務をとおして、出所後にどんな生活を
したいのか、どんなところに住みたいのかを聞き、ご本人
の思いを大切にされた支援をされています。福祉的な支
援は本人の意思が大切であることや受け入れる側の
ネットワーク構築が必要であると話されました。

地域には、福祉の支援を必
要としながらも生きづらさを
抱えたまま、地域で生活し
ている方がおられます。社協と
してできることは限られていま
すが、困っていることを発信
できない方たちと出会い、地
域で暮らすことを一緒に考え
ていきたいと感じました。



山田ふれあいハウス からのお知らせ

山田ふれあいハウスホールの紹介

山田ふれあいハウスに入ると、天井は高く、開放的な
空間の中で、子どもたちから高齢者まで幅広い年齢層の
方々が利用されています。特に囲碁や将棋は盛んに行
われ、腕を磨かれているようです。子どもたちは、将棋を
習ったり、宿題や読書など思い思いに時間を過ごしてい
ます。利用は無料ですので、近くに来られた際には、ぜひ
お立ち寄りください。

開館日 月曜日～日曜日

開館時間 午前9時～午後7時まで(4月～10月)
午前9時～午後5時まで(11月～3月)

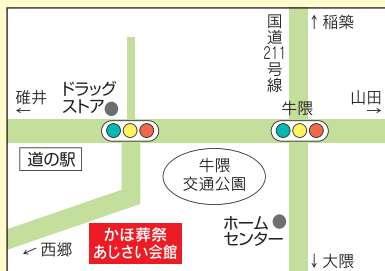
休館日 お盆(8月13日～15日)、年末年始(12月
28日～1月4日)



連絡・問い合わせ先/山田ふれあいハウス

嘉麻市上山田502番地6 ☎ 0948-52-1847
開館 毎日(年末年始を除く) 午前9時～午後5時まで

かほ葬祭では、もしもの時に安心の
「あじさい会」会員を募集しておりま
す。会員とご家族の方には、多くの無
料・割引特典がご利用いただけます。
また、第2齋
場として桂川町
土師 281
254(千尋
会館)に、あじさ
い会館桂川齋場
を開設していま
す。お気軽にご
来館下さい。



嘉麻市西郷150-1
☎ (0948) 62-5566

指定葬祭場紹介
かほ葬祭
あじさい会館

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、かほ葬祭 あじさい会館を含め、市内に8ヶ所あります。

善光会館 稲築会場…………… ☎83-5000
おかむら葬祭岡村会館…………… ☎42-4420
飛鳥会館 南齋場…………… ☎42-4241
きど葬祭やまさ碓井齋場…………… ☎62-4499

ひさつね会館…………… ☎52-0758
いすや会館…………… ☎57-4444
セレモニーホールおおつか…………… ☎52-1212

みなさまの善意、心より厚く、お礼申し上げます。

香典返し・寄附

4月1日～4月30日受付分

◆香典返し

〔漆生本村〕 親族 郷郷	〔山野第一〕 親族 郷郷	〔平第一〕 親族 永永	〔平東〕 親族 永永	〔熊ヶ畑第一〕 親族 柴柴	〔百々谷〕 親族 兼兼	〔木城〕 親族 久久	〔原町〕 親族 柴柴	〔猪之鼻〕 親族 明明	〔立石〕 親族 江崎	
ますみ	信司	富富 三千子 正	永永 正博	田田 義美	尾尾 農幸	信信 喜代次	野野 崇之哉	田田 晴吉	石石 征三	洋忍

〔下益〕 親族 大大	〔三日町〕 親族 萩萩	〔貞月〕 親族 大大	〔千手〕 親族 大大	〔嘉穂才田〕 親族 山山山山山	〔上臼井下〕 親族 中中中	〔光代〕 親族 野野	〔昭嘉〕 親族 伊伊	〔嘉麻市〕 親族 永桐	〔津和野町〕 親族 榎小	
里里 須美子	尾尾 久幸	萩萩 雄子	大大 米恵	山山山山山 孝男 節子 勉	中中中 重子 治	野野 孝子	藤藤 宏樹	平原 貞渡	小鶴 国翠	渡辺 喜三子

◆一般寄附

〔市内〕
嘉穂の名水愛好者一同
様

◆物品寄附

〔子育てリユース〕

〔アルミニウム〕	〔古切手〕	〔使用済みテレカ〕	〔アルミニウム〕
漆生本村 西岩崎 鴨生第一 鴨生北町 飯田 尾浦第二 山下 桑野 大隈 飯塚市 飯塚市 筑紫野市	原田こずえ	大田幸正	飯塚市
匿 岩田 西田 松田	千鶴	幸正	原田こずえ
名 勇治	名	名	名

〔リングプル〕	〔子育てリユース〕
六四田 松田 敏雄	漆生本村 西岩崎 鴨生第一 鴨生北町 飯田 尾浦第二 山下 桑野 大隈 飯塚市 飯塚市 筑紫野市
様	様

7月の総合相談

法律相談

と き: 7月6日(木)
13:00~16:00
ところ: 山田ふれあいハウス

と き: 7月20日(木)
13:00~16:00
ところ: 稲築住民センター

※法律相談は予約が必要です。先着順となっておりますので、お早目にお申し込みください。

心配ごと相談

と き: 7月12日(水)
13:00~15:00
と き: 7月26日(水)
13:00~15:00

※心配ごと相談の会場はいずれも稲築住民センターです。

あなたのが、社協の地域活動を支えています

会員として、次の方々に
ご加入いただきました。
(敬称を省略させていただきます。)
(順不同で掲載しています。)

4月1日～4月30日受付分

- 〈漆生中央〉 6組(九口)
- 〈漆生南部〉 田中ちえ子
- 〈西岩崎〉 久田篤子
- 〈漆生東〉 西田和子
- 〈上午隈〉 益田義昭
- 〈宮吉〉 上田美紀
- 〈市内〉 子育てグループかまつび

ふるさとへの
手紙 No.136



埼玉県久喜市葛梅
在住

手島 保徳さん
嘉麻市千手出身



ふるさととは
今も生きています

『ふるさとは遠きにおいて思うものとして悲しくうたうもの』と呼んだ室生犀星や『ふるさと』の山を見て言うことなしふるさとの山はありがたきかな』を謳った石川啄木の歌がやつと自分でも理解できる年齢となってきたように思われます。早いもので私も還暦を過ぎわがふるさとを離れて早40年以上が過ぎ去りました。最初にふるさとを後にしたのは、確か飯塚駅からでした。『はやぶさ』という名前の寝台特急列車に一人乗り、家族と数人の友人たちの見送りの中、期待と不安を抱いて10時間以上かけ上京したのを鮮明に憶えて

います。今では両親も亡くなり、甥姪の結婚式やお墓参りでの帰省は新幹線や飛行機が一般的となり、車窓での『なんしよつたと、元氣ばしとつたと…』という筑豊訛りもあまり聞くことが無くなり、遠き昭和になりにけりという思いで少し寂しい気がします。

私の生まれ育った嘉麻市千手という所は澄みきった水、青々と生い茂った木々、そして雄大にそびえる山。中でも『馬(馬見山)が胡椒(古処山)喰うて屁(へい山)をふつた』と言って親しまれた古処山は朝目覚めると毎日見上げた我がふるさとの山でした。その山の中腹で、小学5年時春の遠足での初めて食べた飯盒の美味しかったことを思い出します。また頂上から眺めた筑紫平野を縦横に走る筑後川の雄大さは、嘉麻川やボタ山を抱える筑豊とは全く異なる世界を私たちに教えてくれたことを憶えています。中

3時の朝まだ暗い夜明け前、台所から響くまな板の音。そうです、秋の運動会です。莫塵を敷き隣近所の家族の方と顔を突き合わせての巻き寿司のお昼。そして

花形の地区対抗リレー。小1から中3までのバトンリレーですが、老若男女それぞれそ大人も子ども一緒になって我を忘れ応援したものでした。高校時ではわが出身校である今は無き山田高校が、当時の稲築高校と初の合同スポーツ大会を開催したことを覚えています。また秋の文化祭では『イムジン河』。後にその意味を知り、ふるさと筑豊が歴史を動かし、一方で歴史に翻弄されてきたことに万感の思いで涙したことを思い出します。

そんな我がふるさと筑豊・嘉麻は、私にとっては単に思い出多きふるさととしての存在では無く自分という人間を生み育ててくれた誇り高きふるさとと自負しています。これから未来へと続く筑豊・嘉麻が、歴史や伝統を大切にしながら夢ある地域と変貌していくことを遠くから応援して行きたいと思えます。最後に、こんな機会をいただいたことに感謝いたします。

編集後記



(きはら)

8ページの基調講演で、罪を犯した方が刑期を終え、出所されても、福祉の支援が生き届かないため、再犯を繰り返していることを知りました。地域でどんな連携ができるのかを考えていきたいです。



(おがわ)

中学校区ごとの協議体では、それぞれにテーマを決め、みんなで支えあう地域づくりを目指し、話し合いを進めています。興味がある方は、ぜひご連絡ください。



(あかま)

ボランティア情報やイベント情報を毎月掲載しています。市民の方から問い合わせの連絡があると嬉しく思っています。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。



(いとう)

「今月のブログ」では、2つの記事を紹介させていただきました。この他にも、会議や行事などの情報をブログでお届けしています。ぜひブログもご覧ください。



(なかの)

炭鉱の記憶では、山田ふれあいハウスにお持ちいただいた1枚の写真から、地域の方と繋がりを持つことができました。写真は良いなと私も思いました。



(ふじい)

5月14日(日)馬見山山開きに参加しました。今回の表紙のドローンで撮影した写真は、大隈町の坂本写真館に提供いただきました。馬見山の上空からの貴重な写真となっています。



(やひろ)

かま福祉ネットワーク会議では、相談窓口の設置について話し合いました。社会福祉法人のみなさんと一緒に、安心して暮らせる地域づくりを目指していきたいと思えます。